

株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局

2017 年度 放送番組審議会 議事録

2017 年度の放送番組審議会は、2018 年 3 月 20 日(火)に株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局 4 階会議室で開催された。

＜放送番組審議会委員＞ (五十音順)

—ご出席—

栗原 政男 様	佐藤 伸一 様	中野 貴之 様
成田 勝也 様	横溝 明夫 様	

事業者側から局の現況、及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(中野会長による進行)

◆デイリーニュースの取材について

委員 取材ではいつも非常にキメ細かく掘り下げていてありがたいと感じている。しかし昨年に比べて伊勢原市の取材本数が 20 本ほど減っていると思うが、減った理由は何か教えていただきたい。

事業者 全体的に秦野市も伊勢原市も取材本数は減っている。これに関してデイリーニュースの放送時間は 20 分間で CM が入った関係もあり、本数を調整せざるを得なくなり、取材の本数が 4~5 本になった。また、夏の時期には高校野球の中継放送があり、この期間はデイリーニュースの放送を休止していたことも要因の一つとなっている。来年度は見直しを行い、両市 100 本の取材を目標に取材にあたっていきたいと思っている。

委員 秦野市は難視聴エリアがあり、そのエリアから J:COM に入りたいという声をいただいているが、エリア拡張が難しいと理解している。ぜひこのような声が上がっていることを知っていただきたい。

事業者 そういった話は以前から聞いている、現状では厳しいのが実情である。見方を変えるなども含め、引き続き検討していきたい。

委員 きめ細やかに地域のイベントを取材してもらっているが、地域の人から折角だから記念になる DVD をいただければ、との声がある。地域の行事を DVD などで協力いただけるとありがたいがいかがか。

事業者 DVDについては、撮り溜めたアーカイブの映像もあり、相談していただきたい。

事業者 デイリーニュースのような放送取材だけではなく、記録映像などのミッションもあるので、有償になるがぜひ J:COM を利用していただきたい。

委員 商工会議所のイベント等があり、J:COM のアナウンサーをお願いできるのか相談させてもらいたい。

また、オールナイトニッポンに出演させていただき感謝している。秦野商工会議所の PR になったと思い大変良かった。一点残念だった点として、テロップが秦野市商工会議所となっていた。商工会議所は市が付かないので、今後ご注意していただけるとありがたい。良い番組なのでこれからも頑張ってください。

委員 「ど・ろーかるアプリ」は、いつでも見られるのでとても良いと思った。アプリを告知する上で J:COM 全体の告知用 SNS、Facebook や Twitter はあると思うが、局単独の SNS は持っているのか。秦野・伊勢原局で持っていれば、地元意識からもっと身近に感じて有意義に使えるのではないかと思う。

事業者 「タナビ」「ジモスポ」「デイリーニュース」は番組の Twitter はあるが、秦野・伊勢原局として現在はない。

事業者 ほかの局でプロモーションの一環として運用している局もあるが、本社のチェックスキームがあり、相当手間が掛かっているため進めていないが、今後実施に向け検討していきたい。

委員 私も「ど・ろーかるアプリ」は周知不足のような印象を受けた。SNS ではないが、告知媒体として有償だが、市の広報誌に載せる事ができる。全世帯配布するので、一つの告知方法として利用したらどうか。

事業者 神奈川メディアセンターでは今年からプロモーションに力を入れて行こうとプロジェクトチームを立ち上げた。他媒体を利用し PR の場を広げていきたいと考えているので、今回の話についてはぜひ検討していく。

また、このアプリは 4 月から投稿できるようスキームを追加した。

災害時は我々だけで情報を撮りに行くのが厳しいため、特派員的な要素をこの「ど・ろ

「一かるアプリ」を使っていただくことを一つの狙いとしている。

委員 では、質疑応答は以上で終了とさせていただきます。

色々と新しい取り組みをしているようで、これからもっと周知していただき、もっと地域と密着しコミュニケーションをとれるような関係であるよう、今後ともどうぞよろしくをお願いしたい。

事業者 中野会長ありがとうございました。また、委員の皆さまも貴重なご意見ありがとうございました。

以上